

# 壁リモコン

シャワートイレ用

## 必ず確認してください！

### ■リモコン信号を確実に受信するために

リモコンはできる限り、本体に向かって左側の壁に取り付けてください。

必要上、反対側（右側）の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。

また、リモコン受光部側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から1300mm以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。

スクリーンの寸法は高さ(H)1100mm以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで(W)を確保してください。（ただし、壁の仕上げ・色などの条件により多少異なりますのでご注意ください。）

### ■リモコン取付位置

リモコンは操作できる範囲内に取り付けてください。

右図の「取付位置の目安」の範囲で、便座に座った状態で操作しやすい場所に取り付けてください。

万一、シャワートイレが作動しない場合、リモコンの位置を変えるか反対側の壁で確認してください。

※ インバーター照明やトイレ環境によりシャワートイレが作動しないことがあります。

※ リモコン信号を受信しない場合、障害物を確定し、その障害物を移動させるか、または移動が不可能であれば、リモコンの取付位置を移動させます。

### ■必ず便座に座って確認してください。

リモコンを取り付けようとする位置に仮置き、実際に便座に座って【止】を押します（施工完了後の試運転も必ず行ってください）。

【止】を押して、本体から「ピー」という音が出る（受信正常）ことを確認します。

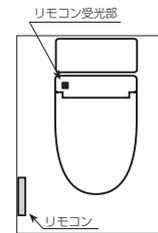
●【おしり】や【ビデ】のスイッチを押すと水が噴出しますので注意してください。

●リモコン取付位置の上方にリモコンを脱着する際に必要なスペースが十分あることを確認してください。

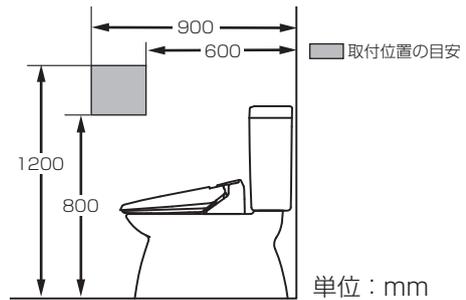
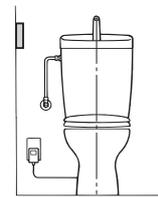
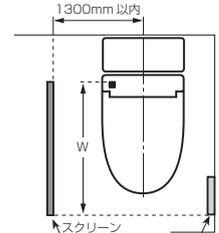


【注意 2 参照】

左側の壁にリモコンを取り付ける場合



右側の壁にリモコンを取り付ける場合



## 併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために

シャワートイレを併設する場合は、他ブースのシャワートイレも反応し誤作動を起こす恐れがあります。

このような場合は、お買い上げのリモコンを使い信号変更ができます。リモコンの発信信号とシャワートイレ本体の受信信号を共に変更してください。

### 1. リモコンの発信信号の変更

(1) リモコンの電池をいったん外します。

(2) 右図の信号表に応じたスイッチを押しながら、電池を取り付けそのまま6秒（おしり、ビデは20秒）保持します。

(3) 発信信号が変更された時、リモコンの電池マークが点滅します。

（変更された信号により、点滅回数は異なります。）

信号番号	操作スイッチ	電池マーク点滅回数
信号 1	温水	1 回点滅
信号 2	便座	2 回点滅
信号 3	節電入/切	3 回点滅
信号 0	ノズルそうじ	4 回点滅
信号 4	洗浄強さ-	5 回点滅
信号 5	洗浄強さ+	6 回点滅
信号 6	おしり	7 回点滅
信号 7	ビデ	8 回点滅

※お買い上げ時、「信号 0」となっています

### 2. 本体の受信信号の変更

- 変更する機器の電源プラグをいったん抜きます。
- 再度、電源プラグを差し込んでから、10秒以内に【止】を10回以上連続で押します。

### 注意

上記作業は、屋内（設備）のブレーカーで電源の入/切を行わないでください。

※同時に複数機の電源を入れると、他機の受信信号も変更される恐れがあります。

※機種によっては、設定できない信号があります。

## 快適機能の設定はしないでください！

### ■快適機能の設定はお客さまにおまかせください。

シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。したがってできる限り、お客さまで設定するようお願いいたします。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。

特に**節電機能**は、お客さまが意識していないと、便座が冷たく感じる場合があります。

### 快適機能とは

シャワートイレを快適に使用していただくためのお客さまのための機能です。

代表的な快適機能には、

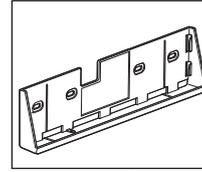
- 便座・温水の温度
- 脱臭機能
- 節電機能
- フルオート便座
- 便座ヒーターオートOFF
- 鉢内除菌

などがあります。

※ 試運転確認後、必ずお買い上げ時の設定に戻してください。  
(洗浄位置【前】と【節電入/切】を同じタイミングで2秒以上押す)

※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

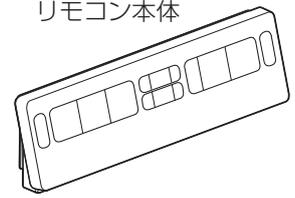
## 部品の確認 (梱包内容を確認してください。)



ホルダー

※ホルダーは本体裏面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。

リモコン本体



電池 (単三形 2本)



木ねじ



プラスチックアンカー

## 施工方法

### 1 電池の装着・リモコン取付位置の確認

(1) リモコンの裏フタを開け、付属の電池 (単三形 2本) を入れます。  
※ 裏フタが開けにくい場合、マイナスドライバーなどの工具でツメ (ロック部) を押えて外してください。

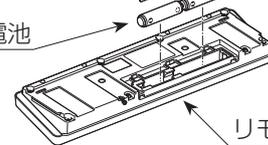
**注意 1 参照**

(2) リモコンの取付位置を確認します。(前ページ参照)

ツメ (ロック部)

電池

裏フタ



リモコン本体

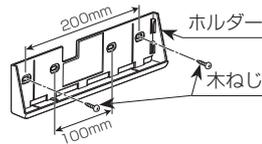
### 2 リモコンの取付け

(1) ホルダーをリモコン本体から外します。

(2) ホルダーを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付けます。

**注意 2 参照**

※ 取付穴は、外側 2つの取付穴 (Aのマーク) を使います。ただしネジ穴 100mm ピッチでしか固定できない壁の場合は、内側の取付穴 2つを使ってください。



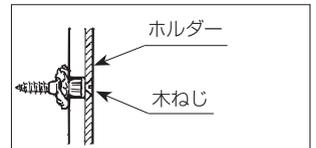
ホルダー

木ねじ

#### ●厚みが 5mm 以上の合板壁の場合

ホルダーを付属の木ねじでしっかりと固定します。

③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。  
締め付けていくとはじめは強く、いったんゆるくなって再び堅くなります。



ホルダー

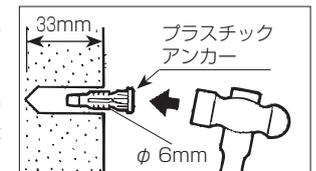
木ねじ

#### ●コンクリートの場合

① 直径 6mm、深さ約 33mm の下穴をあけます。

② ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

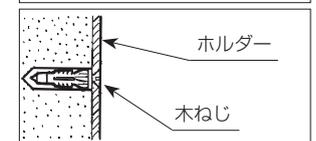
③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。



33mm

プラスチックアンカー

φ6mm



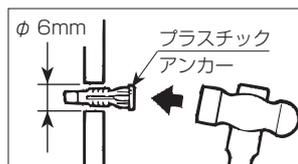
ホルダー

木ねじ

#### ●厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボード壁の場合

① 直径 6mm の下穴をあけます。(石膏ボードは 5mm)

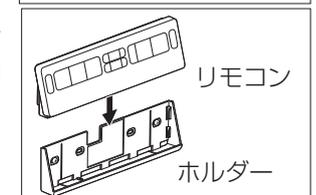
② ハンマーなどを使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。



φ6mm

プラスチックアンカー

(3) リモコンをホルダーの上に合わせ、下へ押し下げてリモコンを取り付けます。



リモコン

ホルダー

## 試運転



着座センサーまたは着座スイッチを ON にします。【おしり】を押してシャワーが出ることを確認します。(シャワートイレ本体の施工説明書「試運転」参照)

### 注意 1

- 電池のプラスとマイナスの向きを間違いないように入れてください。
- 電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。
- 同梱の電池を使用してください。

### 注意 2

リモコン取付位置の上方に、リモコンを脱着する際に必要なスペース (右図参照) が十分あることを確認してください。

リモコンスペース

270mm

80mm

